



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 2934 回 第 37 例会
2017 年 4 月 14 日
毎週金曜日

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

2016-2017年度 R I 会長
ジョン F. ジャーム

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場 事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2016-2017年度 人吉ロータリークラブテーマ

復古創新 - 60周年を祝い、地域に奉仕しよう

本日の進行 (目次)

- P 1 会長の時間
- P 2 幹事報告、出席率報告、会務報告
- P 3~6 地区研修・協議会 部会別報告
米山世話クラブ説明会報告 (宮原かたへ)
- P 6 ココ・R財・米山・人吉奨学寄付カード

点 鐘 本田 節 会長

歌 唱 ヲウリダー 新堀純子 S A A 委員

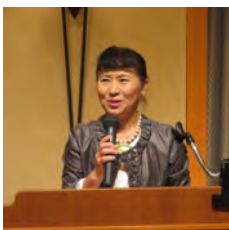


国歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「我等の生業」

司会・進行 石蔵尚之プログラム委員長

会長の時間

会長 本田 節



先週の例会は花見例会ということで、川越会員の経営される石亭の館で開催されました。

予定よりも1週間遅れの花見例会でしたけれども、今年は寒さのため、本日は見事な桜が満開となり見頃でございます。石亭の館は1年を通して季節折々のお花が見事であり、心身共に和む空間作りで大変素晴らしいと思っております。

ところで、本日4月14日は1年前の熊本大地震の前震の日であります。私事ですが延岡直前会長のお声掛けにより私の総務大臣賞受賞の祝賀会を開催していただいた日でもあり、忘れることの出来ない日となりました。まさか熊本でそのような地震があるとは予期せぬ出来事で、多くの被災された方々に心からお見舞いを申し上げ、お亡くなりになられた被災者の方には心より哀悼の意を表したいと思っております。1日も早い復旧・復興を願い、決して風化させてはいけない事ではないかと思っております。明日15日ははいよいよ“命のロータリーキッチンカー”のキックオフとなります。今回の地震で一番甚大な被害があった益城の仮設住宅に行くことになりました。多くの会員の皆様やご夫人の方にも大変お世話になります。宜しく願いいたします。

それから4月8日には米山記念奨学会における世話クラブとカウンセラーの研修会がありました。次年度委員長の宮原パスト会長と私がカウンセラーを仰せつかりましたので、研修に行つて参りました。

ロータリー米山記念奨学事業はロータリーの誇るべき国際奉仕活動の1つです。その事業の要は“カウンセラー”だということで1967年に財団法人として許可を得て、2012年1月4日公益財団法人に移行しました。奨学生の累計は、2016年4月で19,000名を超え、出身国は、世界124の国と地域に、2017学年度の採用数は、約780名になるそうです。日本国内では民間最大の外国人留学生を支援する奨学団体だそうです。1971年にカウンセラー制度が導入されて以来、奨学生とカウンセラーによって国際交流と親善の歴史が育まれてたというお話をお聞きしました。

研修内容は世話クラブとカウンセラーの役割等について詳しくお話をされ、今回改めて私もカウンセラーとなりこの事業の意義や素晴らしさを再確認させていただきました。

今回の米山奨学生は中国出身の王辰寧（おうしんねい）さんで、熊本大学の大学院に在学中の素晴らしい女性で自称ネーミングをモモちゃんと言っておられるチャーミングな女子大生でした。来週ご挨拶に来ることになっていますので楽しみにしておいて下さい。

先日、人吉ロータリー奨学基金委員会の鳥井委員長、山田副委員長、葉山幹事と私で球磨工業高校に奨学金の給付式に行きまして。今年は男性2人に決定し、それぞれの保護者の方も同席していただき、厳粛な式でございました。お二人とも厳しい環境でも素晴らしい文武両道の学業に邁進されており、先生方からも大変お褒めもあり、ご挨拶ではこの事業に対する感謝の念が聞かれ、事業の素晴らしさとロータリーの奉仕の精神を感じ、鳥井委員長の永き教育振興のためにご尽力されてきた熱き思いに感激して参りました。明日は人吉高校でも4名の女子学生に奨学金給付を挙げる事になっております。どうぞ会員の皆様今後ともご協力を宜しくお願いいたします。

最後に、本日は先日行われました地区研修・協議会の部会報告を各委員長さんにしていただくことになっております。いよいよ永田壮一ガバナー、井手会長の年度のスタートが間近に迫っており準備も着々と進んでいるようでございます。60周年を成功裡に終わり7月からのスタートが楽しみであります。これで会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 葉山稔洋



【連絡事項】

- ・ロータリー財団地区補助金額の通知が来ましたが残念ながら30万の申請に対し26万の回答
- ・Eクラブの加盟認証伝達式が6月18日オアシスタワー大分であり案内状が届いておりますので本田会長にお渡し致します。
- ・緑の募金のお願いが参りました。ご協力をお願いします。
- ・先週報告しました玉名中央RCからの週報と人吉医療センター広報誌「翔」3月号を本日回覧します。
- ・ガバナー月信を配布いたします。
- ・4月末からのゴールデンウィーク中の例会変更取止めの連絡が多数来ております。掲示板に貼っておきますので確認下さい。
- ・4月12日水曜日60周年実行委員会が開催されました。残り1ヵ月となりました、皆様の協力を宜しく申し上げます。
- ・明日「命のロータリーキッキングカー」のお披露目キックオフを益城テクノ仮設団地で行い

ます。人吉RC夫人の会17名と他クラブ総勢43名の参加となっております。

出席率報告

委員長 内藤靖雄

会 員 数	62名	本日の出席率	
出 席 免 除	4名	84.75%	
欠 席 者 数	9名	3 / 3 1 出 席 率	87.93%
出 席 者 数	49名	補 填 数	3名
免除会員出席者数	1名	修 正 出 席 率	93.10%

*届け欠席 宮崎・青木・岩下・後藤・安達・延岡・水野
有村・尾上

*出席免除会員(b) 増田, 愛甲, 釜田, 齊藤

*メイクアップ 地区大会；中川・浅野 熊本05福祉RC；石蔵

会務報告

【職業奉仕委員会】 委員長 小林祐介

優良職員推薦書について
再度のお願いです。締切を来週まで延ばします
ので宜しくお願いいたします。

【60周年実行委員会】 委員長 中川貴夫

- ・キャラバン御礼
- ・現在の登録状況（全員登録など）
- ・4/12開催された実行委員会の報告
- ・各委員会開催のお願い

【ローターアクト委員会】 委員長 平田フク
地区ローターアクト主催家族清掃活動の案内
動きやすい恰好でご参加ください。メイク
アップになります。

開催日時：5月7日（日）

9：00集合～11：00解散予定

集合場所：中川原公園

準 備 物：軍手・ちりばさみ・タオル・帽子
飲み物など





G補佐・会長部会

会長エレクト 井手富浩



当協議会は、次年度へ向けての永田ガバナーエレクト及び地区の各部門長の方針、具体的な行動計画が示され、当クラブに於ける次年度方針、計画の貴重な指針となる有意義な会合となりました。

当日、参加できなかった義務出席会員もおられましたので、クラブ管理運営部会の有馬会長ノミニーは、新堀副幹事としっかり情報共有を、会員増強部会の水野委員は小林委員長へ、社会奉仕部会の延岡副委員長は下田委員長へ、国際奉仕部会の丸尾副委員長は北委員長へ、青少年奉仕部会（ローターアクト）平田委員は永尾委員長へ、本日の内容をしっかり伝えて頂き、当クラブ次年度計画の一助となる様、宜しく御願い致します。

さて私の方からは、永田ガバナーエレクトの次年度 RIテーマと地区方針に於きましては PETS報告と重複しますので、省略致しますが、午後からの「基調講演」及びその後の「ガバナー補佐、会長部会」について、報告させて頂きます。まずは、永田ガバナーエレクトの「奉仕の理念と戦略計画」と題した基調講演では、御自身のロータリー歴、ロータリー感を故本田パストガバナーとの関係や出逢ったロータリー本等から学ばれた事等を披瀝されました。

現状として、4大奉仕が5大奉仕へと変化した事や昨年の規定審議会で、ロータリーの組織としてのあり方に大転換が生じましたが、その根本は、些かも崩れる事はないことを明確にされ、1905年のロータリークラブ創立からロータリーの理念が仲間内の相互扶助から、自分以外への奉仕、ロータリーに特徴的な「職業奉仕」の意味等、その発展過程の中で、理論派の

「ロータリアンの心に（奉仕の心を形成）することがロータリーの本旨」 実践派の「（奉仕活動の実践）こそがロータリアンの使命」との

議論があり、その理念と奉仕の融合の中から「超私の奉仕」（理論）「もっとも多く奉仕するものもっとも多くむくわれる」（実践）や四つのテスト、ロータリーの目的等が確立されてきた経緯を伝えられました。

また、戦略計画では、全世界に33,000クラブ、122万人のロータリアンがいるが、基本は各クラブであり、自分のクラブの特徴（歴史、奉仕活動等）を理解し、それをどう発展させて行くか、卓話だけではなく、クラブフォーラム（全員参加型で視点を変えて）等を通して中・長期戦略を計画して欲しいと提言されました。

「ガバナー補佐、会長部会」では、まず、作守地区副研修リーダーより、「会長の時間について」の話があり、私にとってもっとも気の重かった「会長の時間」についての効果的な情報を得る事が出来ました。次に、「会長の責務」と題して、我 中川地区副研修リーダーより、クラブの運営全般、会員増強、出席率の向上の重要性等、事例を交えての話があり、とくに「会長の決断」について貴重な示唆を頂きました。次に6グループに分かれて、「会員増強」についてのグループディスカッションがありリーダー研修を受けた会員により、活発な意見交換、情報提供が行われました。その内容は、会員増強委員会へ御伝え致しますので、宜しく御願致します。

以上、報告を終わります。

幹事部会

次年度幹事 石蔵尚之



幹事部門は、熊本南RCの堀川貴史研修委員より「幹事の役割と責務」、熊本西南RCの森川治雄研修委員より「マイロータリーとロータリークラブセン

トラル」について学びました。また、熊本城東RCの井上弘太郎地区幹事が「幹事の年間スケジュール」について説明されました。今年度の葉山幹事の姿を拝見して薄々感じていたものの、会員データの管理、クラブの財務管理や記録管理など多岐に及ぶ仕事に改めて驚いたというのが正直な感想です。しかも、国際ロータリーは情報化を推進し、各種資料などはウェブサイト経由で提供され始めましたので勉強が必要だと痛感いたしました。ともかく、井手次年度会長のお考えをよく理解し、会員の皆様としっかりコミュニケーションをとり、事務局の緒方さんと打合せを密にしながら円滑なクラブ運営に努める所存ですので、これからも皆様のご指導ご協力を宜しく御願申し上げます。

管理運営部会

次年度管理運営委員長
有馬宏昭

参加者：伊久美^パ 副会長
中島^パ 副会長、有馬宏昭
運営方針：

「ロータリーをエンジョイし、
クラブの活性化を図ろう」



1. まずは出席する
いろいろな人に会って気づきがある。
2. 時代にあったロータリーの運営
各クラブの歴史を検証し地域の特性や会員の個性を生かしたオンリーワンのクラブを目指す。
3. 魅力的な例会作り
例会はロータリーの道場であり、知的興奮の場、その感動で奉仕活動を実践していく。
「入って学び、出でて奉仕せよ」
4. セミナーの開催
「出席率向上」を図り、親睦やロータリーの素晴らしさを知っていただくためには例会をより魅力的なものにする必要があります。そのためのディスカッション、クラブ自慢や、悩みをディスカッションする場を9月2日大分、ホルトホールでの会員増強、公共イメージ合同セミナーで実施し「クラブのサポートと強化」に努められます。

〈参加しての感想〉

「クラブ会長の成功は、会長エレクト時の準備如何にかかっている。」と言われていました。パスト会長、会員の皆様のご指導やご意見を伺いながら、ロータリーの実践を通じ学び、次々年度会長として、準備しなければならぬと覚悟した協議会でした。中川貴夫副研修リーダーをはじめとする、地区研修委員会の皆様、震災後の大変な中、ご準備大変だったと思います。お世話になりました。ありがとうございました。

公共イメージ部会 次年度クラブ広報委員長 渡辺洋文

公共イメージ委員会の活動方針は、各マスコミへ取材依頼をする、ロータリー誌及びロータリーの友の活用促進。My Rotaryの登録とロータリーセントラルへ入るサポートをする。

職業奉仕部会 次年度職業奉仕委員長 岩井和彦



次年度永田ガバナーより、特別な目標が設定されてから協議会はスタートしました。それは「2016年度手続要覧の意味を考え、各クラブ会員にわかりやすく周知していただくこと」です。

この一年間で達成していただきたいこと

- 1) 2016手続要覧を読む（一部が必須）
- 2) 「2016手続要覧の意味を考える奉仕フォーラム」の参加
- 3) 職業奉仕セミナー（職業奉仕の知見と体験の発表会）の参加
- 4) 各クラブの職業奉仕スペシャリストを職業奉仕部門に紹介
- 5) 少人数での学びと懇親会をセットにした研修会への参加
- 6) クラブの職業奉仕活動の現状を確認。また、新しい展開を検討。
- 7) クラブにて職業奉仕月間に「手続要覧」について考える卓話やセミナーの実施、及びその結果の報告。
- 8) クラブの奉仕プロジェクトへの積極的な協力と推進。

以上、8つの目標が設定され大変な一年になりそうで、自分の職業奉仕ができるか心配です。

社会・国際奉仕部会

次年度社会奉仕副委員長
延岡研一

委員会の役割と責務は、「クラブの所在地域に住む人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行う様々な取り組みから成る。クラブの奉仕活動を主導し、地域の地域社会の人々を援助する教育的、人道的プロジェクトの計画と実施を支援する。

R Iの「社会奉仕に関する声明」に基づき、社会が求めている奉仕のニーズの掘り起こしや、それに対するアプローチの方法など、各クラブの事例等を参考に更なる奉仕活動の充実のため、語り合いたい。また、ロータリーの奉仕とは何か？どうあるべきか？次世代にどう繋げていくか？についても楽しく真面目に討論していきたい。

地区補助金については、本年度38クラブから、次年度は43クラブと増えており、各クラブへの補助金の満額回答が出来なくなりました。（全体で約2割カット）因みに、当クラブは30万円の申請に対して4万円減の26万円で決定を頂きました。

委員会主催の地区セミナーについては、職業奉仕部門との合同セミナーとR財団との合同のグローバル補助金勉強会を計画します。

（細部日程等は決定次第案内）



次年度国際奉仕副委員長 丸尾 孜



社会・国際奉仕部会では、前年度の国際奉仕事例の説明の中、フィリピンの水（トイレ）について話がありました。トイレとして排泄物をためる穴を掘り、その上に小屋を付け、穴が満杯になったら埋め戻して横に作り直すといった様式であるため、近くにロータリーが井戸を作っても水が濁り使用出来ないとのことでした。費用も前のように30～40万円では出来ないとのことでした。

また、地区国際奉仕小野健介委員長から、地区補助金、グローバル補助金を活用して行う国際奉仕事業は少ないので活用事例を中心に説明紹介していきたい、2016-17年度にスタートして2年目になる3480地区との姉妹地区交流事業をより親密なものになるよう知恵を結集していきたいと話されました。

その後、永田ガバナーエレクトから、インドへ透析機械の寄附を考えていますが、現地調査へ一緒に行きませんかと話がありました。その資料を回覧されましたが全て英語でした。皆さん解かったのかスムーズに回って行きました。その後、本日の研修協議会についてのアンケートがありました。

青少年奉仕部会 次年度ローターアクト委員長代理 平田フク



次年度の永尾アクト委員長代理として参加させていただきましたので、現アクト委員長として感じた事を報告します。

地区のローターアクトクラブ数は熊本9、大分5クラブでしたが、今年3月に新クラブ「大分中央RAC」が誕生し、15クラブになりました。私は会員数は人吉RACが一番多いと思っておりましたところ、誕生したばかりの大分中央RACが23名と人吉の19名をはるかに上回っていることを知り悔しい思いをして帰って来ました。余談ですが、委員長任務が終わるまでは20名以上に増やして引き継ぎたいと思っています。今後も皆様のご協力を宜しくお願い致します！

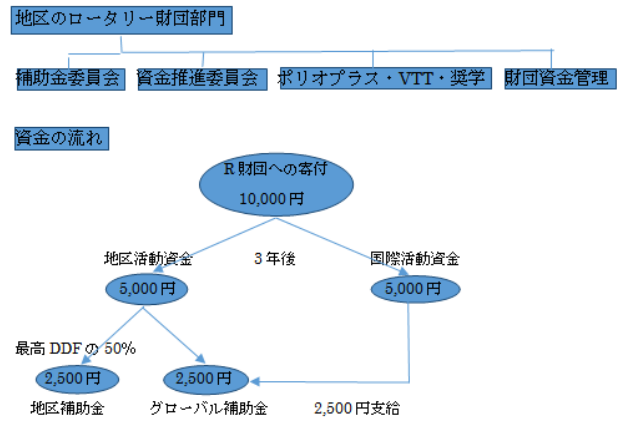
R財団部会 次年度R財団委員長 和田栄司

1. 部門の役割

補助金プロジェクトへの参加と寄付を通じて財団を支援する計画を立案し、実施する。

2. 具体的な取り組み

1) R財団の組織、仕組みを会員に理解していただく



- 2) ロータリー財団・年次寄付・の10%UPをお願いする
 - 3) グローバル補助金・地区補助金プロジェクトへの参加促進
 - 4) ポリオ撲滅運動の推進
- ### 3. セミナーの予定
- 1) 財団・米山奨学金合同セミナーの開催
 - 開催日：9月16日(土)
 - 開催地：熊本 宇城市小川町ホール
 - 2) 補助金セミナー
 - 開催日：平成30年1月27日(土)
 - 開催地：大分市 ホルトホール大分

米山世話クラブ説明会報告 (4/8)

米山記念奨学部会 (4/9)

次年度米山記念奨学委員長 宮原和広



4月8日、米山オリエンテーション・世話クラブ説明会が水前寺共済会館グレースシアで開催され、本田会長・井手会長エレクト・有馬米山委員長と4名で出席して来ました。5年前、当クラブが初めて奨学生の世話クラブとしてベトナムのチェン君を受け入れ、片岡会員がカウンセラーとしてお世話をされました。今回2回目の世話クラブとして中国の王さんの受け入れが決まり、本田会長と私がカウンセラーでお世話をすることになりました。ガバナー挨拶で始まり、カウンセラーハンドブックの説明、各委員会活動計画、休憩をはさんでガバナーエレクトの挨拶、学友会の説明、活動・世話クラブカウンセラーと奨学生の顔合わせ、ガバナーより奨学生へバッジの交付、ローターアクトについて説明があり、最後に赤山評議員の講評で終わりました。場所を移動して各テーブル毎に世話クラブと奨学生と交えた懇親会があり、オリエンテーション説明会は無事終了しました。

熊本に一泊し、4月9日の地区研修・協議会出席のため熊本学園大学で皆さんと合流しました。

地区研修協議会は10時の点鐘で始まり、ガバナーエレクト・ガバナー挨拶と続き、次年度部門方針発表があり、昼食をはさんで2時10分より部門別協議会に移りました。私は米山記念奨学部に出席しましたが前日と重複する内容でもありました。事業の基礎・目的を正しく理解して頂き、奨学交付金の機会を得た外国からの留学生が将来、日本と母国、そして世界平和と国際親善に心身ともに貢献できるリーダーとして力を発揮できるよう育成し支援することで、奨学生が世界を結ぶ懸け橋になれるよう多くのロータリアンに伝えてくださいということでした。活動の一つとして、地区全体のロータリアン・米山奨学生・米山学友・ローターアクトの繋がりを更に活発化させ、相互理解を深める。寄付金について、一人平均15,000円（普通寄付金+特別寄付金）の継続目標があげられました。



【寄付カード】 ニコニコ箱委員長 竹長一幸
〈ニコニコ箱委員会〉

- **愛甲会員** 先週と今日と久しぶりに出席いたしました。ロータリーソング忘れてはいただけませんでした。井手副会長より上手く歌うことが出来ました。
- **堤正博会員** お花見例会の席で誕生日及び結婚記念日のお祝いをいただきました。ありがとうございます。いよいよ後期高齢者になりました。もう少しの間頑張りたいと思っています。
- **堤 脩会員** 所用のため早退します。

〈R財団委員会〉

- **武末会員** 愛甲先生が発言どおり例会に出席されました。創立60周年には大いにアイデアを発揮して下さい。

〈米山記念奨学委員会〉

- **平田会員** 毎例会の米山奨学基金に寄付します。

点 鐘 本 田 節 会 長